

現代史特集 日本の性産業と見えない当事者

対談 コロナ禍の証言

セックスワークの変化と「変態」コンテンツの検閲、そして買春処罰法

雛奈子 / 河原 梓水

M嬢からのスタート

フリーランスとして独立、動画販売へ

「変態」コンテンツの検閲

金融的問題

言葉の検閲

Xの表現規制：凍結祭とセックスワーカーの一斉排除

買春処罰法実施国の現場

世界の「売春」と日本の「売春」の違い

買春処罰、日本で実行されたら？

新しい職業の誕生

雛奈子（ひなこ）



自らをフェティシズム研究者と名乗り、幼い頃からの関心を基にそれを仕事として展開。従来の「女王様と奴隷」という枠にとらわれないスタイルの性風俗を追求し、現在は世界に向けてフェチコンテンツ制作を行っている。

河原梓水（かわはら・あずみ）



歴史学者。ソープ以外のセックスワークをあらかた回った後、SMクラブに定着して学部・大学院生活を送る。現在は、SMを中心に、モノ化、同意、戦後思想、表現規制史などを研究。

K：河原 H：雛奈子

M嬢からのスタート

K：雛奈子さんを知らない層に向けて、簡単に自己紹介をしていただけますか？

H：雛奈子と申します。コンテンツクリエイターとして、いわゆるアダルトな動画や写真を制作して、それをコンテンツとして販売して生計を立てています。ただ、私が作っているコンテンツはアダルトだけど、裸は全然出てこなくて、何かしらのフェティシズムを抱えている人たちをターゲットにしたものです¹。私自身が出演しています。

K：そもそもはM嬢だったんですよね？

H：26歳くらいから、SMクラブでM側として働いて、性的サービスを販売していたんですよ。2010年くらいかな。働き始めた理由としては、性欲がすごくて(笑)。と言っても性行為をしたいわけではなくて、M嬢として縛られたいとか、痛めつけられたいとか、そういういじめられたい欲が強かったんです。プラス、お金も貰えるならいいじゃんって、好きで働き始めたんですよね。それでしばらくM嬢として楽しく仕事をしていたんですが、何年か経つとM嬢としての限界を感じてしまって。

M嬢ってすごい体力を使うんです。縛られたり色々なことをするので。だから好きだけど一生はできないなとも思ったんですよ。やりたいと思っていたことも大体やりつくしちゃったし。私はこの仕事が好きだけど、もっと長くできることはないだろうかと、ぼんやり考えていた時に、自分はM嬢さんたちと話が合わないことに気づいたんです。M嬢さんは、同じプレイでも、このお客さんにされるんだったらいいけどこっちのお客さんだったらヤダ、みたいなものがあるんですけど、私はわりと誰でもよくて。行為自体が好きなので相手は別に誰でもいいって思っていたんですよ。

K：上手い下手もどうでもいいんですか？

H：下手な場合、この下手くそにやられている自分をもっとやばい♡、みたいに脳内変換するので。それで、M嬢さんとは話がかみ合わないけど、フェチ男さんとは意気投合することが多いってことに気づいたんです。一定の条件さえ揃えば自動的に興奮してしまう人が多くて。私、M嬢として働いているときも、M男性がけっこうお客さんとして来て

¹ 詳細は、雛奈子さんのX (@mistresshinako)、Fantia等を参照のこと(雛奈子「【毎日更新】ひなこクリニック♥/ラバー/ゼンタイ/レザー/サテン/エナメル/グローブ/メディカル/寸止め/手コキ/ペニバン/着ぐるみ/CFNM/拘束/縛り/マミー/女王様(雛奈子)」、Fantia、<https://fantia.jp/fanclubs/152317> (2026年3月20日最終閲覧))

いたんですよ。女王様をお願いしづらい、やりたいことがいっぱいある M 男さんとかが。

K：女王様に、マゾの方からあれこれやりたいことをお願いするのは気が引ける方々ですね。

H：M 嬢だと、はいわかりました～って全部やってくれるじゃないですか。だからフェチプレイもすごく多かった。フェチの人って、どちらかと言うと自分がやられたい人が多いのですが、マゾではないので高圧的な女王様はどちらかという苦手で、カップルみたいに和気あいあいと合意の元で相手と対等にプレイしたい人が多いんですよ。

私フェチの方が好きかも、と思い始めた時期に、ちょうどヨーロッパに2カ月くらい旅行する機会があって、いろんな変態のところを回ったんですよ。この時に、ベルリンの、もう閉店しちゃったんですが、スタジオ・アヴァロンっていう SM クラブを見学させてもらいました。そこは広大な敷地にドッグラン²があったり、色々なタイプのプレイルームがあった。ラバーの部屋とか、ホワイトルームっていうメディカルルーム³とかね、夢のようなスタジオで。メルセデスさんとマーロンさんという2人の女王様が共同経営してらっしゃって。

K：私も何度かうかがいました。小西真理子さんがメルセデス女王様にインタビューさせてもらったりして。とてもやさしく素敵なお方でしたね。

H：私が見学した時は、ちょうどメルセデス様がプレイを始めるときだったんですよ。メルセデス様は、上から下まで真っ白のレザーでばっちり決めて、ピンヒールで、真っ白い鞭を持ってカツカツカツカツってホワイトルームに入ってきたんですよ。めっちゃカッコ良い！なんでこういう感じの女王様はあんまり日本にいないんだろう...？ そうか、私がお店を日本でやればいいんだ！と思って。やるべきことが見えたって感じて、帰国してすぐに自分で Web サイトを立ち上げて、お店を作って無店舗型風俗営業の届出をして、女王様として独立しちゃいました⁴。

K：お店では1回も女王様をやらないまま独立されたんですか？

² 人間用。

³ 医療をテーマにしたロールプレイを行なうための部屋。本格的な診察台や医療器具が用意されている。

⁴ 独立とは、フリーランスとも呼ばれ、キャストが所属店を退店し、自分で開業することを言い、具体的には、無店舗型風俗特殊営業の届出を個人で出す、すなわち、キャストが自身1名だけの無店舗型風俗店を新たに開業することを意味する。

H：M嬢続けるか悩んでいた時に、ちょっとだけやっていました。女王様のほうが息が長いじゃないですか。A⁵で働いたんですよ。でも全然人気が出なくて。そしたら回春エステで働いていた友達の女王様がうちで働きなよって誘ってくれたので移りました。この店はオーナーが変わった人で、女の子のやりたいことは何でもやってよくて、自分で好きにコースを考えていいし、オプションも何つけてもよかったです。だからラバーコースとか作って。



スタジオ・アヴァロンのメディカルルーム(雛奈子さん提供)

そしたらこっちの店ではどんどん忙しくなっちゃって。多分半年もしないうちに独立しちゃったと思うんですよね。独立したての頃は、M嬢コース、Mコース、S&Mコース、全部できます、みたいなことをやっていました⁶。

フリーランスとして独立、動画販売へ

K：最近風俗嬢の独立/フリーランス化がかなり増えてきましたよね。SM業界で言うと、これってどれくらいで定着したんですかね？2010年代後半ぐらいかなって印象なんですけど。

H：私が独立したのが、2018年なんですけど、その時独立されたのは、ぱっと見た限りA女王様ぐらいしかいなかったんですよね。

K：確かに2010年代前半には、独立の機運なんて、かけらもなかったような気がします。私の友人の観菜月らみいさんが独立したのも確か2019年。まだ10年も経ってないぐらいなんですわね。

H：そうですね。私が独立した後、同じお店の先輩二人が半年後ぐらいに独立したんですよ。そのあとあっという間にコロナが始まって。コロナ前後にバーッと増えた感じですかね。...と言ってもそんなには居ないんですけどね(笑)。数えられるくらい。

⁵ 女王様専門の、本格派に分類されるSMクラブ。

⁶ Mコースは客がキャストに責められるコース、S&Mコースはプレイ中に客とキャストの立場を入れ替えることが可能なコースのこと。

K：そんなに数はいないにせよ、そういうこともできるんだなっていうふうに、独立が選択肢に入ってきた。それが2020年前後くらいですかね。

H：そうですね。私が独立した時は、どうやって無店舗型風俗営業届を出したらいいのかとか、調べても全然出てこなくて、頑張って調べて自分で出したんですけど⁷、今はそれ専門の行政書士さんがいるくらい。

H：かなり普及してきているんですね。お店勤務と比べて、独立後はどうでしたか？

H：やっぱり、自分のやりたいプレイだけをしたくなりますよね。私の好きなことができる人が来て欲しいじゃないですか。だから、そういう人が来てくれるような宣伝をしました。やりたいプレイをわざと仲良しのお客さんにやってもらって、それをSNSにアップする。それを見てやりたくなったお客さんが来る、と。それをずっと繰り返しているうちに、私の好きなプレイができる人だけが来るようになって。今は自分のやりたいことしかやらなくていいのでめちゃめちゃ楽です。

K：素晴らしいですね！

H：私、お客さんと仲良くなりすぎちゃう癖があって。

K：それは羨ましい。

H：友達みたいになっちゃって、だんだん友達にお金もらうのは申し訳ないな、とか思い始めちゃうんですよ。まあ、ちゃんともらうんですけどね(笑)。そんな気持ちと、セッション⁸だけやってちょっともったいない、セッションの時に動画も撮って売れたらいいかも、と思い始めました。それで1年くらいお客さんとのプレイ動画を撮影して、編集してXやFC2⁹にアップロードしてみました。2018年頃ってFC2も緩かったし、Xも今みたいに規制がなくてばんばんアダルト動画をアップロードできた。なので、独立しても宣伝ツールがいっぱいあって、セッションの予約も入りすぎちゃうくらいで、個人事業主としては全然困らなかったんですよ。

⁷ 詳細は以下を参照。Lady Hinako 「【風俗嬢の独立の仕方】無店舗型風俗営業届けの書き方から開業届の出し方まで！（書類PDF,直接相談できるLine@付き）」、note、2021年1月4日公開記事、https://note.com/lady_hinako/n/nb42feac53e4d?after_purchase=true&scrollpos=paywall（2026年3月5日最終閲覧）

⁸ プレイのこと。

⁹ FC2 動画。FC2 が運営する動画共有サービス。

今はもうセッションを受けていなくて、動画制作だけなんですけど、相手からお金をもらってプレイするんじゃなく、私がやりたいことを提案して、相手をモデルとしてやるって関係なので、より一層やりたいことができてますね。

K：なるほど、動画を販売することで、新しい関係をお客さんと築けてもいるわけですね。

H：そういうのもあって、FC2 に動画をアップロードして 1 年間ぐらい調査してみた結果、結構いけるかもと思って。でも FC2 って課金のシステムが難しく、現金をポイントに変えて、ポイントで買うみたいなことをしないといけないんですね。売る側もポイントを現金にして...とか面倒くさくて。その当時は便利に動画を売れるプラットフォームがほとんどなかったの、しょうがなく自分でホームページを作ったんですよ。

K：個人が動画を売れるサイトって昔からあるのかと思ってました。けっこう最近なんです。コロナで急成長したという感じでしょうか？

H：そうなんです。コロナ前は全然でしたけど。OnlyFans¹⁰だったり Fantia だったり、その後発で myfans とか Fansly とかもいっぱいいろんなサイトができては消えてきては消え...¹¹。

はじめ、海外の風俗嬢たちがコロナで働けなくなったのをきっかけに利用するようになって、ぐんと伸びた印象です。私もはじめは海外の子から教えてもらいました。

コロナの時は、対面営業ができないので、セックスワーカーはみんな動画を撮って売りたいんだけど¹²、外出自粛で撮影ができないからどうしよう...って焦っている人がいっぱいいました。でも私はその 1 年前くらいから撮影をやっていて、業界の先輩から、動画のストックはいっぱい持っといた方がいいよって言われて、60 本持っていたんです。なので困らなかった。コロナ禍中に売り上げもバツと伸びて、これはもう、SM プレイしなくても生きていけるんじゃない？ みたいな具合に。

K：動画はプレイと違って 1 回撮ってしまえば疲れないしね。

¹⁰ サブスクリプション型のコンテンツ共有プラットフォーム。クリエイターがファンから月額サブスクリプション料金やチップを受け取り、限定コンテンツ（写真、動画、ライブ配信）を公開する。アダルトコンテンツが多数を占める。

¹¹ OnlyFans は 2016 年 11 月サービス開始、Fantia の事業開始は 2016 年 5 月。流通総額は、Fantia では 2018 年段階でまだ 3 億円に過ぎなかった。（株式会社虎の穴「2022 年度業績見込み及び、事業構造改革の進捗について」<https://www.toranoana.jp/company/pr/ir202206-02.html>（2026 年 3 月 19 日最終閲覧）

¹² 動画販売の仕組みは、クリエイターが自身の動画をプラットフォームにアップロードし、それをユーザーが購入、プラットフォームは手数料を差し引いた残額をクリエイターへ支払う、という形が基本となる。手数料はプラットフォームごとに異なるが、一般的には 20～40% 程度。

H：そうなんです。なので、コロナのこともあったし、2021年に有料のセッションを受けるのを辞めますってXで発表して。その後はもう動画制作に集中して今に至るって感じですね。

K：今お話を聞くと、ものすごく順調に進んでいるように聞こえますけど、やっぱりそれなりのご苦労もありますよね。

H：もちろんですよ。M嬢から女王様、コンテンツクリエイターにと、結局は上手いこと流れてきましたけど、全部の選択が、葛藤と出会ったことによってシフトしていかざるを得なかった、みたいな部分が少なくないです。それに、これまでほとんど誰も始めてないことを始めちゃうことが多かったので、全部自分で調べて切り開いていくっていうのは、なかなか大変でしたね。

「変態」コンテンツの検閲

K：多分、この雑誌の読者の多くは、雛奈子さんが作っている動画の中身が全く想像つかないと思うので、簡単に説明してもらっていいでしょうか？多分、フェチっていても足フェチくらいしか知らない人が大半かと。

H：確かにそうですね。私の中では足フェチはまだライトなほう。というのも、足って一応人間の体の一部だから。私の動画では素材とか状況とかにフォーカスしているんです。例えば、ラバーフェチとかレザーフェチとか、全身タイツとか。全身タイツっていうのは、もじもじくみみたいなタイツを上から下まで着て、肌色が全くない状態で、お互いに触り合ったりする動画とか。ラバーだったら、『スター・ウォーズ』でハン・ソロがカーボン凍結されちゃうシーンがありますけど、それに似た拘束具に人を入れる動画とか。ほとんど肌色はない。

最終的にペニス部分だけを拘束されている部分からちょっと出して、私が手コキしたりして射精させたりとかはありますが。見る人が見ると多分、これのどこがエロいんだろう？ってなるとは思いますね。もちろんモザイクはかけているし。

K：今の日本の「わいせつ」認定の判例からすれば全く「わいせつ」ではないですね。面白動画と思う人も多分いますね。だから全然削除には及ばないと思うんですけど...現在、雛奈子さんが制作する動画はものすごく厳しい検閲にあっていて、しばしば削除されて、コンテンツとして販売できない状態が頻発しているそうですね。

H：そうなんです。私が体感してる中で一番厳しいプラットフォームは OnlyFans ですね。コロナ禍中に人気が出て、今やポルノハブを追い越して一番有名なポルノサイトになりましたけど。

例えば、人が床に寝ているとします。寝ているところを触ったりとかするだけで、動画でそういう立ち位置だったらもうアウト。

K：なんでですか！？

H：OnlyFans では「意識がない」「抵抗できない状態」に見える「演出」は、実際に合意があっても違反扱いされてしまうんです。例えば、軽く拘束された状態で床に仰向けに寝そべっている状態の男性を、女性が触ったりするシチュエーションも対象になります。拘束が無い場合でも男性が無反応だとたまたま消される...

よくわかんないんですよ、ほんと。潮吹きも場合によってはダメだし。軽くたたかただけでもダメだし。

でも私の作っているコンテンツの中で一番厳しいのは、やっぱり呼吸制御系ですね。人間って普段、鼻と口のどちらかでしか息をしてないわけですよ。なので、鼻か口どちらかが開いていけばけっこう大丈夫なんです。道具も実はすごく安全設計されていて、すぐに救出できるようになっているんですね。すごく安全にできている。さらに、頭の気圧とか眼圧とかにも気をつけて、耳栓したりとかね。いろいろ考えて慎重にやってるんですけど…。全く動けない状態で、口だけ呼吸の動画とかは、それでも危ないって判断されて消されてしまいますね。SNS とかでもシャドウバンされたりしてしまう。そういうのはね、つらいですね。

あと全身タイツも消されてしまったんです。何でなのか問い合わせたら、「どうやって息するの？」って返事がきて。

K：.....どうということですか？全身タイツって布ですよ？マスクと一緒にだと思うのですが。

H：“How can they breathe?” って言われて。いや、だってこれただの布だよ？って返したんですけど、ダメなものはダメです、みたいな返事で。

こういう理由で消せるんだったら何でも消せちゃうなあ、って。でも、コンテンツ販売って、よその家にお邪魔して売ってるみたいなものだから、いくら理不尽なルールでもルールに従って作るしかないから...

こんな感じでもうずっと戦っていますよ。これから先もずっと続くんだろうなっていう感じではあるけど、いい加減疲れています。

コロナ禍中、SNS 上で一気にそういう表現規制が厳しくなっていった時に、長年やってた Instagram のアカウントが凍結されて消されてしまったんですよ。

K：覚えてます！フォロワーもすごく多くて、かなり長い期間をかけて育てておられたアカウントですよ。

H：フォロワー3万5千人くらい。すごくショックで。ものすごく気をつけて運営していたんですけど。同じ時期に、ラバーのコスチュームを着ているだけの人たちも消されちゃったんですね。別に肌は全然出てないのに。

K：ただの服装の自由...

H：そう。ハッシュタグで「ラバードレス」は平気なのに、「ラバー」だけだと消されたり。ラバーフェチの人たちのアカウントが一気になくなっちゃったりしたんですよ。AI が勝手にアルゴリズムか何かで凍結していると思うんですけど、とにかく1回ラバー系がいきなりダメになった時期がありました。この時はすごく怒りが湧いて！

さらに、実は怒ったところでどうしようもないっていうか、そもそもラバーフェチなんて、ものすごく小さい世界で、全然一般に知られないじゃないですか。だから、こんな目にあっても誰も気づかなくて、身内だけで文句を言ってるしかないこの状態がすごく歯がゆくて。むかついて。

K：『現代思想』に書いたんですけど¹³、今のそういう表現規制っていうのは、メジャーなポルノは野放しで、周縁ばかりを取り締まっているんですよ。ノーマルな男女が、ただ裸になってフェラしていろんな体位で膣ペニス性交する、みたいな、最も大量に作られて視聴されている類のポルノはこんなに厳しく規制されないわけですよ。中心を温存するための盾にされているような状況ではないかと。「過激なポルノ」を取り締まる、という態度は結局フェチとかSMとか変態ポルノだけを取締まることに正当性を与えてしまう。動画の削除は、動画販売で生計を立てている人の生活を直接的に圧迫することも問題ですけど、要は、特定の性的欲望を「不適切」とか「危険」とか、たいして考えていない理由で雑に排除するってことは、その動画を求めている人たちの存在自体を否定するようなものでしょう。全身タイツだとピンとこない人が多いかも知れないけど、じゃあ異性愛のポルノは自由に見れるのに、ゲイポルノは「不適切」だと削除されるって状況に置き換えたら、当然許されないと思う人が多いと思うんですよ。どれだけ差別的かわかると思います。

¹³ 河原梓水「性表現規制の対決線：「過激なポルノ」の取締りをめぐって」『現代思想』53(6)、2025年。

H：本当ですよね。それで、私そのとき、ニットでスリープサック（sleepsack）¹⁴を編んだんです。

K：ニットで！？

H：気持ち的に作品にして消化するしかなくて。ラバーの拘束具に人を入れている動画だとすぐに消されちゃうし、シャドウバンもされちゃうんですけど、じゃあ素材がニットだったらどうなの！？みたいな。私が頑張って手編みで作ったかわいいニット素材のものがいたら？ これでも消すんかー！と思って作って。で、それは消されなかったんですよ。

15

K：おおー！

H：でも、見る人が見たらね。ニットフェチの人っているじゃないですか。有名なモヘアマンさんとか。ほかにもニットフェチはフィンランドとかにいっぱいいるんです。そういう人たちから見たら、ニットのスリープサックだってすごく性的なわけですよね。だから見る人によって何が性的で何が性的じゃないかって千差万別なのに。AI のアルゴリズムで、はい、ラテックスツルツルですね、はいエロいです×、肌色ですね、エロいです×、みたいな、そういう右ならえみたいに全部決められていっちゃうのって、本当に多様性の真逆！だなんて思って、怒りが湧いたんです。

でも、結局ニットを編んでいるうちにだんだん消化されて、落ち着きました(笑)。そうやって消化するしかない。自分の怒りを。

¹⁴ 寝袋状の拘束具。人体を寝袋状に覆った上からベルトで拘束する形のものや、空気を入れ膨らませることで着用者の体を圧迫し自由を奪う形のものなど、様々な形状がある。

¹⁵ 雛奈子さんの 2023 年 10 月 13 日 Instagram 投稿。雛奈子さんはスリープサックの写真を以下のような文章と共にアップロードしている。

「先人の性的フェティシスト達は、厳しい検閲(性的表現取り締まり、出版物没収や逮捕など、国により様々に)屈せず素晴らしい作品を今世に残してくれました。/ ついに 2018 年、WHO の精神医学的診断から BDSM、フェティシズム、服装倒錯家が解放された年でした。/ しかし、作品の発表先が紙媒体からインターネットに以降し、検問者が人間から AI に変わった事により、2020 年のコロナ禍以降、性的フェティシストへの規制は新たな章へと移行しています。/ AI が全てを検閲する小さな四角い箱の中、私は私の作品で世界の人間の絶望に、静かに憎しみを持って反抗するしか、まだできません。」(/ は改行)
https://www.instagram.com/p/CyVZSVgJ9Gt/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRIODBiNWFlZA%3D%3D (2026 年 4 月 2 日最終閲覧)

K：スリープサックってすごく大物ですしね。
世の人は、所詮エロコンテンツだから、もともとそんなに良いものでもないし、削除されてもしょうがないよね、みたいに思っていることもあり得るのかなって推測しますが、結構力を入れて作っているし、そもそもこれこそが多様性の否定であり、マイノリティへの弾圧だという問題として受け取ってほしいですね。

H：なんていうか、生活、なんですよ。動画を提供する側の収入ってだけじゃなくて。フェチが強い人って、フェチ活動も生活の一部だったりするんですね。その人の人格にすごく影響していたりとか。本人にとって、とても大切な部分なので、それを一概にはいダメです、みたいな扱い方をされると、やっぱりちょっとないなって思うし、どうしても怒りみたいなのが出ちゃうね。



雛奈子さんがニットで編んだ
スリープサック

金融的問題

H：例えば、銀行とかも、突然海外からの振り込みを受け付けてくれなくなって、お金が入らなくなったりとかします。あと、PayPal もアダルト禁止なんですよ。ほかにもPayPayとか、大手のサービスは大体アダルト禁止。

私、40万くらい入っている状態の、私用で使っていた PayPal が凍結されたことがあって。その日、他にも友達の中で2人、同じく凍結されたっていう方がいて。海外の人たちも結構凍結されていて、なかには何百万か入っているのに凍結されて、お金が返ってこない人もいたみたい。私は国際弁護士を雇って、何とかお金は戻ってきたんですけど。そういうお金のトラブルが一番毎回ハラハラする。お金がちゃんと自分の口座に届くまで、安心できない。

Fantia とか日本国内のプラットフォームは今のところ大丈夫なんですけど、海外のプラットフォームは仲介業者みたいなのを挟まないとお金が入らないとか、さらにその仲介業者を挟むだけでパーセンテージをけっこう取られたりとか。

海外のプラットフォームから直接自分の口座に送金できれば私も全く苦労しないんですけど、そういうわけにはいかなくて。銀行もここはダメ、ここはいいとか色々。だから、全然やりたくないのにマネーロンダリングみたいなことをしないと着金しないみたいな状況。真面目にね、合法的にちゃんとモザイクをかけて動画を販売しているのに、お金が入ってこないかもしれない恐怖と毎月戦っています。一時期、そういうトラブルが多発したとき

はもう本当に結構消耗しました。

K：自由なプラットフォームを作ることはできないんですかね？

H：最初はみんなそういうプラットフォームを作るわけですよ。OnlyFans や Fantia も最初はゆるゆるだった。ですけど、だんだん人気が出てくるにつれて、どこも厳しくなっ
てしまい最終的には消えちゃう。プラットフォームって本当にできては消え、できては消
え、で。どんなにお金がある人が作っても消えたところは消えたんですよ。クレジットカード
会社のせいだとか色々言われていますけど。

K：クレジットカードさえ使わなければいいんでしょうけどね。あとは通販以外？実店舗
だったらオンラインでアウトなものも全然問題なくクレジットカードで買えるらしいんで
す¹⁶。それも変な話ですけど。

H：海外のプラットフォームによっては、仮想通貨を使ってるところとかもありますけど
ね。仮想通貨は銀行やクレジットカード決済のような中央集権的な決済規制は存在しない
ので。

K：そうなんですか。すみません、私全く知識がないんですけど、仮想通貨ってなんなん
ですか？なんか、暴落するイメージしかなくて(笑)。

H：私めっちゃ好きなんですよ。

K：どの辺が好きなんですか？

H：仮想通貨って、誰にも管理されていないんだけど、でもお互いに見張ってるんですよ。
ブロックチェーンシステムで。みんなが欲しいって思ったら高くなるし、いらなくてな
ったら安くなっちゃうんですけど、みんなが信じてる間は価値があるんですよ。仮想通貨
はみんなが信じてる間だけ存在してるんですよ。

K：へえ、すごい。なんか哲学のテーマっぽい。

H：銀行とかクレジットカードとか通すと、手数料何%とか、そういうことになるわけで

¹⁶ 稀見理都「金融的検閲時代のマンガ表現」(『マンガ・スタディーズ』巻2先行イベント「『表現規
制』の正体は何なのか!? 金融的検閲からAIマンガまで」報告、2026年1月25日、京都国際マンガミ
ュージウム(京都市)。

すけど。間に誰か入れなくても、個人個人でやりとりできる。匿名性も高くて、お財布のアドレスっていうのがあるんですけど、アドレスさえ知ってれば誰にでもお金を送れるんですよ。じゃあ10ドル渡すね、ピロ〜ン、みたいな感じで。

K：かなり民主的な通貨ってことですか？

H：そうそう。なんか資本主義をやっつけられる感じがある。

K：ありますね。エロを売りたい時も、間になにも挟まないから自由ってことですね。じゃあ、エロの検閲って、仮想通貨を普及させれば解決する話だったりするんですか？

H：そう。でも、やっぱりみんな仮想通貨は怖いと思ってなかなか普及してないんですけど。実際上がり下がり激しいし。でも私はなんか、資本主義やっつけられる感じがめっちゃ楽しいなと思っちゃって。

K：みんなが信じさえすれば...エロの天国が訪れると...

H：そう、信じさえすれば...だから私は、けっこう溶かしちゃったこともあるんですけど、仮想通貨に期待してずっと持っています。

言葉の検閲

K：動画販売やセックスワークだと、SNSでの宣伝は生命線になってくるかと思いますが、現在かなり締め付けが厳しいそうですね。

H：2018年は、今に比べたらぜんぜん緩かったんですよ。Xもアダルト系のポストをしたとしてもシャドウバンとかなくて。いろんなものがもっと自由だった。

K：つい最近なんですね。コロナ禍で急速に厳しくなったという感じ。

H：そう。かつてはブログも盛んで。ライブドアブログとか、他のブログも（セックスワーカーは）みんな書いていたけど...最近ね、ブログ自体が閉鎖になっちゃうところもあったり、書く内容も言葉が制限されたり、いろいろあってブログ自体が下火になっていってますね。

K：補足すると、風俗業は自分自身で宣伝して、客を自身で呼んでくる必要があります。そのために、今ならSNSなどで宣伝活動をする必要があるのですが、一昔前はブログでの集客もメジャーだったんですよね。私も現役時代は運営していました。

ブログには色々なことが書かれていて、プレイについてももちろん書くわけですが、ここに遊びに行ったとか、見た映画や読んだ本の感想とか、日常についての記事もたくさんあったんです。そういうものは、もちろん営業・宣伝用の記事なんですけど、それなりに風俗嬢個人の姿が現れているものもあったんです。お客さんだけじゃなくて同業の女の子も結構読んでいたりして。

そういったものが、ブログの閉鎖などによってすべて失われているという状況がある。これはアダルトに限った話ではないですが、アダルトジャンルのみが閉鎖されるブログサービスもあるということですね？

H：2018年にTumblrがアダルトだけ突然禁止になったりしましたよね¹⁷。

K：初めて言葉が取り締まれるようになったときのこととかが覚えておられますか？この辺で引っかかったとか。

H：私は日本のプラットフォームよりも先に海外で動画を販売し始めたので、私がそれを最初に体験したのは海外のプラットフォームです。サイトによって禁止ワードが結構違うんですけど、例えば「pee」（おしっこ）とか「poop」（うんち）とかはもちろんダメだし。「Forced」（強制）とかもダメだったり。いろいろなワードがダメ。動物系も結構ダメ。「dog」とか「cat」とか。

K：海外って獣姦に厳しいですよね。

H：そうです。でも、例えば「Doggy suit」という、日本語だとヒトイヌ？

K：ああ、獣姦じゃなく、ヒトがイヌになるやつが...

H：そうそう、人間がやるために、ヒトをイヌっぽくするための拘束スーツがあって、それをDoggy suitって言うんですよ。でもコロナ禍中かな、Doggyが禁止ワードになっちゃって、Doggy suitって言葉も使えなくなっちゃった。なので今は「Bitch suit」って言うようになりました。

¹⁷ Tumblrのアダルトコンテンツ規制の変遷については以下を参照。「Tumblrが18禁コンテンツに譲歩、「ヌードはOK」だが「セックスはNG」、GigaZINE、2022年11月2日公開記事、(<https://gigazine.net/news/20221102-tumblr-allow-nudity-material/>) 2026年4月22日最終閲覧。

アダルトサイトでも、言葉の規制がプラットフォームごとにいろいろあります。Fantiaだと「緊縛」は使えないので、「縛り」とか「ロープ」とか言い換えて。禁止になったアダルトワードをごまかす言葉みたいなのがいっぱい出回ったりとか。

K:日本の、例えばFANZAなどでも、もうSM系の表現物は基本そのままでは載せられないですね。「レイプ」や「強姦」、「奴隷」、「強制」、「催眠」もダメだし。結局いちごっこにしかならないですね。

H:そう。言葉だけをつるし上げたところでどうなるんだろう。最近は何を書くにも大丈夫だろうかとか、いちいち気にするようにはなっちゃいますよね。

日本だとFantiaも、当初は結構すぐに作れて、いろんな人が参入しやすかったんですけど、今は新規に参入するのも一苦労みたいです。

OnlyFansもFantiaも今そうだと思うんですけど、個人で顔を出して活動していないといけないし、活動している証拠としてのSNSの運用数ヶ月以上っていう実績プラス写真付きの身分証明書の提出が必要ですね。

K:Fantiaの規約をみるとさらっと「活動実態が確認できること」と書いてありますが¹⁸、その具体的内容がそういうことなんです。

H:アダルトだけかもしれないですけど。でも、OnlyFansのほうはアダルトとか関係なく新しいアカウントを作るのに、SNSを本当にやっている証拠が必要ですね。

K:私も、Antitled友の会で会員制度を発足するにあたって、Fantiaを使って会費支払いを受け付けようと思って、ちょっと前にアカウント作ったんですよ。作っておいてよかった(笑)。ただ団体名の口座を開設するのがとても厳しくなっていて、まだ作れていないんですね。

H:FantiaもOnlyFansも、会社とかでアダルト動画を作る人にはなかなか厳しいんですよ。例えばOnlyFansだと、1人につき、有料アカウント・無料アカウント1つずつしか作れない。あと、例えば自分の動画に誰かを呼んで出演してもらったとするじゃないですか。その場合、出演した人もOnlyFansアカウントを持ってないと動画が承認されないんですよ。なので、OnlyFansで活躍している女優さんとかは、OnlyFansのアカウントを持っている人としかならできないんですよ。

¹⁸ 「ファンティア[Fantia]投稿ガイドライン」

https://help.fantia.jp/guideline?_gl=1*1ayu0ua*_ga*NzkyNzgzMzkwLjE3NzM5MTE1MjQ.*_ga_5D88MN5EKL*czE3NzM5MTE1MjQkbzEkZzEkdDE3NzM5MTE1NjkkajE1JGwwJGgw#guideline_7
(2026年3月14日最終閲覧)

K：じゃあ M 男さんを出演させるのもけっこう難しいですね。

H：ですね。なので、毎回同じ M 男さんを使うってことになっちゃうんですね。

K：よくわからない規制ですね。強制的にポルノに出演させられるような被害を防ぎたいのかな。でも、アカウントを作らせるところから強制されたらムダなのでは。

H：そう。まあ、未成年はいないってぐらいですかね。

K：今締め付けが少ないのはどこなんですか？

H：日本だと、Fantia の後発の myfans っていうところに人がわりと移動し始めている感じですかね。

X の表現規制：凍結祭とセックスワーカーの一斉排除

K：そういえば「Fantia」ってもう X では書けないんですか？なんか伏字になっているの見かけて。

H：そうなんです。今 Fantia とか OnlyFans とか、私は他に Clips4sale っていうところもやっているんですけど、そういうアダルトサイトの名前を書くと一気にシャドウバンになっちゃったり、アルゴリズムで出てこないようにされたりとか。リンク貼るともうダメ。全然他のアカウントから見えなくなっちゃうので、伏字を使うことになる。

私は、2018 年頃アダルトの宣伝動画を X にアップロードしまくっていた名残りのせいか、シャドウバンの末期状態なので(笑)。でも消されないだけマシだなとは思っているんですけど。

K：そうですね。とりあえずフォロワーさんには見えるわけだし。

H：最近ではもはやフォロワーにも見えないんです。

K：ええ！？...フォロワーの意味とは??

H：そうなんです。昔はシャドウバンってレベル 4 まであったんですけど、イーロン・

マスクに変わってからレベル7ぐらいまで増えたらしくて。

K：雛奈子さんのXのフォロワーは今のアカウントで7.2万ですね（2026年3月現在）。そんな大きなカウントなのにフォロワーにもポストが見えないとかすごいですね。私も前に運営していたアカウント、学術的な呟きメインで健全アカウントだったと思うのに、いつのまにか強制的にセンシティブ設定にされてシャドウバンされ、アカウントを作り直す羽目になったので、かなり恨んでいます。

H：最近、SMバーや風俗店の人たちが、凍結祭り¹⁹でXからほとんどいなくなっちゃって、もうめっきりつまなくなっちゃいました。

K：2025年12月に実施された、性風俗店、風俗嬢、SMバー等のアカウント一斉凍結のことですね。あの時は本当にびっくりしました。いつもの凍結祭りと同じく、突然フォロワー数のごそっと減って気づきましたけど、いつもより段違いに減ってて。バーの公式アカウントも消されるんだ！って。これまでも風俗嬢アカや変態アカは定期的に凍結されてきましたけど、規模が段違いで。こんなこと以前にもありましたか？

H：公式が消されるとかはないですね。初だと思います。だから当初、何が理由で凍結されたのか、全然わかんなかったですね。

K：裸の写真をアップロードしているとか、凍結されても仕方のないアカウントならともかく、むしろそういうのは生き残っていて、「今日は誰々が出勤です」とか、事務的な情報しかつぶやいてない風俗店の公式アカウントがやられていましたよね。その一体何がダメだったの？っていう。しかもれっきとした合法店ですからね。

H：直接会うことをにおわせるのがいけない？とかって推測されていましたが、結局わからない...

K：出会って言われても、だってふつうに営業している店ですからね。風俗嬢の営業用アカウントでは、出勤日をDMで連絡したり、フォロワー以外にリプライするだけで凍結されたとか。SMバーの来店予約をDMで受け付けたら凍結、とか。現行法の売春では

¹⁹ Xにおいて、短期間に多数のアカウントが凍結される現象のこと。（Xの味方「X（旧Twitter）凍結祭りとは？原因・最新事例・解除方法・対策まで徹底解説」、note、2025年12月12日公開記事、<https://note.com/xnomikata/n/nf8cf53ba7ff4>（2026年3月20日最終閲覧）。凍結は異議申し立てにより解除されることもあれば、永久に解除されないこともある。定期的に発生し、SM関係だと年に数回起こる。

まったくない、合法の店を利用しようとする予約の何がそんなにいけないのか、全然わからないですよ。SMバーなんて風俗店ですらなくただの飲み屋だし。そのくせ卑猥な写真をアップしている裏垢のほうはなぜか凍結されないし、インプレゾンビも凍結されないし、差別的アカウントも凍結されないし...

H：なんかそういう、よくわからない大きなものに巻かれて規制されて、居場所がなくなってしまおうって、結構ひどい話ですよ。

K：凍結された人たちは Bluesky のほうに移動したので、私も Bluesky を見るようになったんですけど、そこで、10 年以上運営してフォロワー10 万以上にまで増やした店の公式アカウントが消されたって嘆いてる方がいて。ソープ店でしたけどめっちゃくちゃかわいそうでした。

H：かわいそう。普通に、ちょっと「言論の自由」を返してくださいって感じですよ。普通に営業妨害とかね。コロナ禍のときにもめっちゃ感じましたけど。風俗店に給付金が出ないとかね。

K：X はいちおうアメリカ準拠なんですかね。

H：国ごとにやっぱり法律が違うから、X Corp. Japan なんじゃないかと思いますが。

K：なんかタイミングがすごく、買春処罰法の議論がメディアに出るようになったところだったので...これで現役のセックスワーク当事者が X からごそっと消えて発言も見えなくなっちゃった...

H：そうそう。わかる！私もちょっと陰謀論みたいなことを思っちゃいましたよね。なんでこのタイミング？みたいな。こんなふうに、反対しそうな人たちを見えないようにしちゃえば、なかったことになっちゃうから...怖い！って思って。

K：そこまで特に悪いことしてないっていうか、法律守って生活していて、X のルールにも神経使ってきちんとルール内で運用していた人たちまで、一気に問答無用で凍結されて二度とアカウントが復活しない、みたいなのは、いくら民間企業だからって何のルールもない。

H：本当ですね。セックスワーカーに人権ないんだなって思いましたね。

買春処罰法実施国の現場

K：買春処罰法の話が出たので少し説明を。

2025年11月に、高市早苗総理が、法務省が「現行の売春防止法に「買う側」への罰則追加を含む形での改正の検討」を指示しました。これは、「北欧モデル」と呼ばれる取締まり形態に日本も移行する可能性を示すものです。

買春処罰法の問題については、既に施行されている国での調査などがあるので、詳しくはそれを見ていただきたいのですが、いずれも現役セックスワーカーの収入が減少し、労働環境が悪化する、売買春はよりアンダーグラウンド化してしまうといった報告がなされています²⁰。まあそこは想像がつくわけですが、実際はどうなのでしょう。

H：2023年かな、コロナが明けてからフランスに行っただです。フランス人の女王様でフェミニズム活動をやっている方がいて、その人が世界中の女王様にインタビューをとって本にしたんですが、私もインタビューされて²¹。そのお礼を兼ねて会いに行ったんですね。で、フランスだとセッションってどんな感じですか？って聞いたら、フランスは買春が禁止されちゃってるからお客さんが逮捕されちゃう²²。だから心配なお客さんには、セッションする前に「これは売春ではありません」みたいな契約書にサインを書かせてそれからプレイをすることもあって言っていました。

K：その契約書って、効果あるんですか？

H：いや、全然。多分気休めだと思います。クライアントの安心のために書いているだけかな。

やっぱり、お客さんを取るの前よりも難しくなった、とは言っていましたね。だから信頼できる人とはばかりセッションしていると²³。買春処罰法については、その彼女はすごく

²⁰ 青山薫「買春処罰のリアリティ：なぜ、いま、日本で？」、アリソン・フィリップス著、frida people 訳「なぜ「北欧モデル」が最悪なのか（参考資料を添えて）」、エレン・ルバイ、カロジェロ・ジャメッタ著、frida people 訳「セックスワーカーはフランスの売春法をどう考えているか？：フランスにおける2016年4月13日制定「売春システム」対策法の影響にかんする調査[総括]」、シャルレーヌ・カルデラーロ、カロジェロ・ジャメッタ著、花岡奈央訳「売春問題：フランスにおける移民管理・公共秩序。女性の権利の名のもとに行われる抑圧的な政策」、ニーナ・ヴオラヤルヴィ著、戸谷知尋「買春者の犯罪化：北欧地域の経験から」、以上すべて『シモーヌ』2026冬号（サッフォー、2026年2月）に掲載。

²¹ Justice, Inanna. (2022). *The Heart of the Dominatrix: Portraits and Interviews of Exceptional Mistresses*. Inanna Justice.

²² 2016年施行。買春者は、初犯の場合罰金1500ユーロ、再犯者には最高3750ユーロが課される。

²³ フランスの警察の捜査方法は確認できなかったが、韓国では警察官によるおとり捜査が行われており、証拠集めのため、セックスワークが行われている現場にふみこみ、性行為や類似行為をするシーン、あるいは衣服を脱ぐシーンを女性の同意なくカメラやビデオで記録するという。さらに、警察の管

嫌がっていて、そのせいで、公園——よくニュースになってる——なんか立ちんぼでいっぱいになったし、治安も悪くなった、昔よりアンダーグラウンドになって危ないのよ、って言っていました。だから彼女はこの法律にはすごく反対していましたね。

K：海外と日本では売春の範囲が違って、SM クラブでのプレイも売春に相当してしまうので、買春処罰法はほとんどのセックスワーカーに関係しちゃうんですね²⁴。だから影響が非常に大きくて。

H：コロナ禍中に、イギリスの Fetters っていう路面店舗がある老舗の SM 道具屋さんをはじめ、いろんな店が閉店してしまいました。何が起きているのかしらと思ったら、イギリスでそういった店舗に対する税金がものすごく上がったらしく、それが払えなくて閉店したらしいです。それと同じ理由かはわからないんですが、イギリスは一応、性風俗店っていっぱいあるんです。SM ダンジョン²⁵もいっぱいあるんですけど、ひとつのダンジョンに必ず 1 人のみのミストレス²⁶なんですよ。

K：ピンポ (Pimp)²⁷を禁止する目的の、徒党を組んではいけないというやつですね²⁸。

理がずさんなため、これらの証拠写真や映像がオンラインに流出しているという。(澁谷知美「韓国「セックスワーカーの日」レポート」、「朝日新聞」論座、2014 年 7 月 24 日掲載記事、<https://webronza.asahi.com/national/articles/2014072200004.html> (2026 年 4 月 7 日最終閲覧)。スウェーデンにおいても、警察は刑事手続きのための証拠としてビデオカメラを使用しセックスワーカーと客を撮影することがあると報告されている (Chu, S K H & Glass, R (2013) Sex Work Law Reform in Canada: Considering Problems With the Nordic Model. *Alberta Law Review*. 51, p. 107)。

²⁴ 日本では、売防法が禁止する売春行為は膣ペニス性交、風俗店でいうところの「本番」のみ。立ちんぼやパパ活などの個人売春が該当し、性風俗店ではグレーゾーンのソープランドなどが該当する可能性があるのみ。それ以外の、ファッションヘルス等日本の主流性風俗は、サービスを非本番＝口腔性交に限定することで売防法の規制対象外となり、風営法の管轄となる。ソープランドを除く非本番系の性風俗のうち、風営法にのっとって営業の届け出を行っている性風俗店は、日本においてはグレーではなく完全に合法。

²⁵ SM プレイのためのプレイスペース。複数のルームから構成されることが多い。商業ミストレス・マスターはこれらを所有・あるいはレンタルして SM セッションを行なうことが一般的。

²⁶ 日本でいうところの女王様のこと。

²⁷ 日本語でいうところのポン引き、スカウトなどを指す。それを望まない、主に女性に強制的に売春させる組織や人、行為そのもののこと。

²⁸ たとえば北欧諸国では、売春行為に対する第三者からのすべての「支援」——利益を目的としないものも含む——が犯罪化されているが (第三者法=Third-party law)、この法律はセックスワーカー同士が一緒に働くこと、お互いに助け合うことをも犯罪化する。さらに警察は本法律に基づき、セックスワーカーが住む家の家主、利用するホテルのオーナー、雇用する会計士やボディガード等に売春あっせん容疑をちらつかせることで、ワーカーの住居や仕事場所を奪い、ワーカーを孤立した労働環境に追いやって

複数人が所属する風俗「店」は禁止という。

H：そう。組織的に人身売買をしないみたいな感じで、徒党を組んではいけないので、アシスタントも1人までって決まっているそうです。なので、例えばダブルミストレス²⁹のセッションはお店みたいになっちゃうので禁止なんですよ。お店はアウトだけど1人なら店ではないからセーフ。

K：女の子が2人いたほうが安全なのに。

H：そう。その辺が日本と全然違う。日本には複数人が所属するお店（風俗店）がいっぱいあって、お店に所属するからこそ安全に守られている部分もあるのに³⁰。その辺の考え方が全然違うので、最初行ったときびっくりしましたね。なんでダブルでやっちゃダメなの？って。

K：多分、ワーカーの気持ちは日本と一緒に思うんですよ。セックスワーカー同士で徒党を組んだ方が絶対安全。フランスで働く中国人セックスワーカーのドキュメンタリー映画を見たことがあるんですけど、そこでも法律で2名以上で働くことが禁止され、そのせいでより危険になって困っているという話を取り上げられていたように思います³¹。

法律を作る側が、ピンポンのあまり、セックスワーカー同士の必要な連帯まで破壊するような法律を作っちゃうってことかと³²。

法律を作る側にも差別意識があるので、現役セックスワーカーが困ったところで自業自得、みたいな運用をしているのかもしれない。買春処罰法が短期的に現役セックスワーカー

いるという指摘がある（前掲注20、ヴォラヤルヴィ「買春者の犯罪化」、McBride, B., Shannon, K., Murphy, A., Wu., S, Erickson., M, Shira M., Goldenberg, S. M. & Krüsi, A. (2020) Harms of third party criminalization under end-demand legislation: undermining sex workers' safety and rights, *Culture, Health & Sexuality*, 23(9), 前掲注23、(Chu & Glass 2013)などを参照）。

アムネスティ・インターナショナルは、第三者法をはじめとする、ピンポン行為を取り締まるこれら「売春あっせん禁止法」について、この法は対象範囲が広すぎ、かつ曖昧であるため、虐待の加害者ではなくセックスワーカー自身がしばしば罪に問われてしまうこと、多くの国では、身の安全を守るために2人以上のセックスワーカーと一緒に働くと、その場所は売春宿とみなされ、違法とされてしまうとして反対している（アムネスティ・インターナショナル・ジャパン「【Q&A】セックスワーカーの人権を擁護する方針に関して」、2016年5月26日公開記事、

https://www.amnesty.or.jp/news/2016/0526_6062.html（2026年4月2日最終閲覧）

²⁹ 客1名に、女王様が2名参加する複数プレイ。

³⁰ 店舗型風俗店の利点についてはSWASH編『セックスワーク・スタディーズ』（世界評論社、2018）を参照。

³¹ 『Doux Amer(Bittersweet)』, by Nicola Mai and Les Roses d'Acier, 2023.

³² 前掲注28。

に悪影響を及ぼすことはおそらく確かで、アムネスティも国連も反対していることを知らないわけじゃないはずなので³³。

H：そういえば、ドイツのスタジオ・アヴァロンが閉店したのも、確か、徒党を組むのがダメになったことが大きかったみたいです。ドイツは、風俗で働く人は全員登録しなくちゃいけなくなっていて、風俗パスポートみたいなものが発行されるんですね³⁴。このパスポートを持っている人以外をお店で働かせたら、オーナーが処罰される、みたいな制度らしいんですけど。それがコロナ中に厳しくなって、待機室でみんなて休んじやいけないみたいな制度になっちゃったらしいんですね³⁵。徒党を組むのがダメになって。組めないんだったら、お店に所属してなくてもいいやって、女王様とかがみんな独立し始めちゃったんですよね。そうするともうお店としては継続が難しいじゃないですか。コロナ禍にみんな独立して1人女王様になった結果、アヴァロンのほうは閉店しちゃったという。悲しい。

世界の「売春」と日本の「売春」の違い

K：現状、日本で検討されている買春処罰は、売春防止法の改正なので、いわゆる性風俗ではなくて売春行為のほうのみが該当することになります。現在でも違法な、本番＝膣ペニス性交を金銭でやりとするもの。非本番系の合法性風俗のほうには手を付けるとは語られていません。

H：本当にそうなら、ソープ以外の性風俗店は全部無事だから、被害はそこまで大きくないと言えるかなと思うんですけど。できれば風俗営業のほうには、影響なく済めばうれし

³³ 前掲注 28、アムネスティ・インターナショナル・ジャパン「【Q&A】セックスワーカーの人権を擁護する方針に関して」。

³⁴ ドイツでは、2002年に売春を合法化したが、宣伝方法や業態などで多数の行為が違反行為として定められており、売春が自由に行えるという状況ではない（荒木修「ドイツにおける売春規制：土地利用規制を中心に」『關西大學法學論集』63-6、2014）。警察の取締まり活動においては、合法化前後で変化がないことが指摘されている（ibid., 134）

³⁵ ドイツでは、コロナ対策としての行動制限措置として、2020年3月すべての売春施設の閉鎖が実施され、アヴァロンの所在するベルリン州では閉鎖が9月まで続いた。アヴァロンを閉業に追い込んだのはおそらくこの規制措置であると推測される。フランクフルトを拠点とするセックスワーカー支援団体ドニャ・カルメン（Doña Carmen）のプレスリリースによれば、ドイツでは、コロナパンデミック期間、エヴィデンスは無いまま売春施設を感染のホットスポットとみなし、一方的な長期閉鎖措置を取った。もっとも長く閉鎖されていたのはヘッセン州で、閉鎖は468日に及んだという（Was für eine Schande: Erst nach 468 Tagen dürfen Prostitutionsstätten in Hessen nun wieder öffnen!, ドニャ・カルメン、2022年6月22日公開記事、<https://www.donacarmen.de/pressemitteilung-15/#more-2726>（2026年3月24日最終閲覧））

いな〜と...

K：法務省はそうではないと思うんですが、買春処罰推進派って、性産業そのものを撲滅したいみたいなんですよね。だとすると、風営法管轄の合法店を放置するとは思えない。買春処罰の方向で売春防止法が改正されてしまったら、次は売春の定義が拡大されて風営法下の店も売春扱いになるんじゃないかなって心配しています³⁶。そうなる日本風俗店は全部が犯罪化されてしまいますね。何十万人の人が一気に無職になるかもしれず、ものすごい数が個人売春に移行してしまうかもしれない。

H：私が思うのは、prostitution＝日本語で「売春」ですけど、日本で売春っていうと、いわゆる本番、膣にペニスを入れることだけを指すじゃないですか。でも海外でprostitutionっていうと、私が今やっているSM風俗とかも全部売春になるんですよ。この言葉の中身の違い、感覚の違いみたいなのがすごくあるなどは思いますね。

K：それなんですけど、海外のSMクラブって、本番しているところ結構あるじゃないですか。だから売春に含まれるのかなって思っていたんですけど、そうではないってことなんですかね？

H：日本だと、挿入行為って言ったらペニスのみじゃないですか。アメリカの女王様に聞いたのですが、アメリカでpenetrationっていうと、人体に何かを挿入する行為が全部含まれるらしいんですよ。お尻にペニバン（ペニスバンド）を入れてもダメだし、お口に入れるのもダメだし。じゃあ耳の穴とか鼻の穴はどうなの？って聞いたらそれもダメだって言われて。それは笑っちゃったんですけど(笑)。

K：じゃあ耳かき動画とかもアウトなんですかね。

H：性的なものならアウトかもしれない。挿入全般がダメ。ただ、厳密なものではなくてグレーですけど。女王様の場合、ペニバンプレイをやっていることなどはかなり公に言いにくいらしいです。

K：ヨーロッパもそんな感じですか？

³⁶ 2026年3月30日の報道では、法務省が設置した検討委員会において、委員から「(売春)行為の範囲を拡大すべきか検討が必要だ」との声が上がったことを報じている。(「売春規制「買う側」処罰が焦点 法制定70年、見直し議論開始—法務省検討会」、時事通信、<https://www.jiji.com/jc/article?k=2026033000083&g=soc> (2026年4月4日最終閲覧)。

H：ヨーロッパもやっぱり定義は広いですね。SM プレイ全般、性的な何らかのサービス全てが売春のグループに入りますね。

日本は、「売春」はかなり悪いけど、風俗はまあ、合法だしそんなに悪くないんじゃない？ っていう認識がありますよね。海外には売春にそういう区別はないので、海外と比べるといっても、一概にイコールにならない、そもそもベースの価値観が全然違う。

K：私も、アメリカやフランスに比べると日本はセックスワーカーへの差別がまだ少ない方だと感じています。このあたりの国は本当にセックスワーカーを蔑視する価値観が強くて、ヘイトクライムがかなり起きている。だからこそ権利運動も起きるわけですけど。フランスでエスコートサービスをしている女性と複数プレイをした友人から聞いたのですが、その女性は、フランスではお客さんと会う時常にスタンガンを携帯しているらしいんですね。びっくりしました。日本ではちょっと考えられない警戒度だなと。日本の合法店で、そこまでの危険を感じて働いている人は少ない。

日本ではこんな風に少しだけ差別がましで、セックスワーカーがフランスより少し安全なのは、ひとえに合法店があるからだと思うんですよね。売春はダメだけど性風俗はOK というイメージはもろに、売春が犯罪化されていることに起因するスティグマ化の影響だと思うんですよ。

だから、買春処罰が合法風俗店にも波及してこっちも違法化されてしまったら、セックスワーカーへのスティグマ化が進行してしまって、今より差別や暴力が増加してしまうのは確実だと感じますね。

H：より危なくなってるね…。なんか、今回の買う側を処罰するっていう改正も、なんかもう、通っちゃいそうじゃないですか？ 抗えない流れになっていて。それもすごく怖いなと思っています。もっとさ、反対もワーって言っているはずなのに。

K：反対すると、女性に対する暴力を肯定している！ 女衒！ といった批判がきてしまう。暴力に反対しているからこそなのに。男性の場合は、性風俗好きだと思われるのにためらいがあって発言しにくいのかもかもしれません。とはいえ勇気をもって反対してほしいですね。

買春処罰、日本で実行されたら？

K：買春処罰は、建前上は客に加えて、売春を斡旋する行為を取り締まるという立て付けになるのかなと思うんですが、この斡旋を取り締まる法律ってすごく世界で評判が悪いんですよ。先ほど話に出たように、安全のためにワーカーが2人以上で働くことが禁止され

てしまう。そして、例えば待遇の良い店の情報交換をワーカー同士でして、その情報を元に店を移ると、店を教えたワーカーが斡旋で逮捕される³⁷。

日本でも、こういう徒党を組むことを禁止にする法ができる危険がある。日本でもまずは、事務所を一切持ってはいけない、キャストの待機室を設けてはいけない、とか、そういう感じになる可能性がありそう。

H：うん。考えられますね、大いに。厳しいね...

K：厳しい。待機室が嫌いな人ももちろんいると思うんですけど。結構そこで仲良くなったりとか、聞こえてきた情報で接客を楽にすることができたりとかすると思うんですね。

H：そうですね。情報交換大事。そこらへんを規制されないように、早めに対策したりとか。「快適な事務所」アピールみたいなことをお店もやっていいかも。快適・安全！みたいな感じで。

K：それ、いいですね。待機室を禁止にされて、個別バラバラに働かされるようになったら、確かに風俗店は、セックスワーク否定派が言うみたいな地獄のような職場になっていっちゃうのかなって感じもする。

H：規制しても、見えにくくなるだけなのに。大久保公園から立ちんぼの子たちがいなくなっただとしても、どこかにはいるんですよ。見えなくなるだけで。見えなくなっちゃった後どうするの？ 見えなかったら助けることもできないじゃないですか。存在がなくなっちゃうわけで。

見えなくなったら完了なのかな。見えない空間がどんどん増えちゃったらどうするんだろう。

K：ネット上はイーロン・マスクがやってくれるから、（性産業）撲滅できそう、みたいな？

H：ちょっとずつルールを厳しくして行って、ジリジリジリジリ追い詰めていけば、消えるでしょ、みたいな？ 凍結すれば誰も気づかないし...見えないし。怖い！ 消えてなくなって、そのうち、え、最初からなかったよ？ みたいな...？

K：SM？ フェチ？ そんなヤバイことする人いるんですか？ みたいな...怖い！

³⁷ 前掲注 28

買春処罰推進派は、基本的に、自ら進んで売春する女性はあるはずがなく、皆嫌々働いていると固く信じているんですね。好きで働いていると主張する人も、トラウマの再演に気づいていないだけで、あとから後悔するんだと。そして売春は女性にとってすべて暴力だとよく主張するんですよ。

雛奈子さんは、好きでセックスワークしている女性って、セックスワーカー全体でどれくらいの割合だと思いますか？買春処罰推進派の人たちって、そんな人は10%以下、いや、1%くらいに思ってそうなんですよね。

H：え、100%(笑)。私の周り好きでやっている人しかいないからな...お金のために働きはじめたけど意外と楽しかったって子もいれば、本当に純粹にお金のためって子もいるかも。

K：私の周りもそうなのですが(笑)。さすがにそれは偏った観測だとは思うんで。好きかどうかはともかく、お金のために、自らの選択としてそれなりに納得して働いている層が7~8割くらいかなあって体感としては思うんですけどね。SMは好きでやっている人の割合は9割を越えそうですが。

人身売買で、まじで強制的に連れてこられたような人っていうのは、私は目撃したことはないんですが、最近だと北欧で全体の6%という調査がでてます³⁸。日本ではもう少し少ないだろうと思いますが。

私がちょっと想像したのは、1~2カ月くらいで退店しちゃう、ほとんどしゃべらない女の子たち。たいていどこの店にもいるじゃないですか。待機室のすみっこに静かに座っていて、なんかメンタルの調子悪そうだな~って感じの女の子。あの子たちはそういえばどこに行ったんだろうな~って、この問題を考えていた時にふと思い出したんですよ。本当に風俗がイヤだった子っていうのは、ひょっとしてああいう感じの子だったのかなって。店も転々として、多くの女の子たちの視界にも入らず、すーって消えていっている可能性があるんじゃないのかなど。

H：確かにそれはそうかも。

K：その子たちのことは全然確かに考えられてなかったな、とは思って。ただ買春処罰でその子たちが救われるかという、全くそうは思えない。むしろ好きで選んでセックスワークをしている層というのは、言い換えれば他の仕事も選べるってことですよ。だから買春処罰で労働環境が悪化したら違う仕事しよ、って切り替えられるかもしれない。だけど、

³⁸ 北欧3国で、129人のセックスワーカーをふくむ210人を対象として行われた調査では、聞き取り相手のうち人身取引や強制売春にあったと認識していたのは6%、大多数は経済的動機(前掲注28、ヴォラヤルヴィ「買春者の犯罪化」)。

嫌々やっている子はそういう選択肢がないわけだから、追い詰められるのはむしろこの層ではないかと思いますね。

雛奈子さんは、売春とかセックスワークが、人の尊厳を傷つける行為であり、本人が自身の選択だと言ってもダメなんだ、やらせない方がいいんだ、という考え方についてどう思いますか？

H：わからないんですけど…。私、M嬢になる前、あらゆる性に対してすごく嫌悪感があったんですよ。性嫌悪症って言うくらい。普通のセックスできる人をサルと同じ、人間以下くらいに感じていました。

その時の自分を思い出すと、セックスワークに反対している人たちって、その時の私みたいな感じなのかなって思ったりして。ちょっと気持ちがわかる気がするんです。

その頃の自分って、圧倒的に、すごく傷ついていたんですよ。性というものに対して怖いし、なんかもう全部嫌、みたいな。とにかく生理的に無理、みたいな感じでシャットアウトしていて。全部なくなればいいのに…ってマジで思っていた。そんな感じなんだとすると、反対している人たちって本当は、個人の中に別の問題があるんじゃないかなって。難しい。この人に何て言ってあげたらいいのかな…と思っちゃうことはあるんですけど。

K：元セックスワーカーって反対派にけっこういますからね。

H：気持ちはわかるけど…。でもそれでもやっぱり選択。本当にね。自分で選択してその仕事を選んで、私もその1人ですけど、それのおかげで今の私があるし。性嫌悪だった過去も昇華して、今とてもハッピーなので…何て言うかな。やっぱりその、ネガティブな考えに固着してしまっているところから何とかしてあげたいってことはすごく思うんだけど。私はセラピストじゃないし…めっちゃ難しい。

K：なるほど。私はその辺は正直よくわからないので勉強になります。私自身は性にそんなに重要性を見出したことがないというか、心を捕らわれたことがなくて。

H：自分に置き換えていうと、自分の中で何か守りたいものがすごくあるから…それをちょっとでもつつかれるとすごく攻撃されている気持ちになっちゃうんですよ。自分の世界を壊されたくない、みたいな。その人たちと相まみえて話し合いするのってめっちゃ大変だなって思っていますね。

実際多分大変だから、自分ができないことを楽しんでやっている人がマジで信じられないし、そういう人が羨ましいし、やっぱり自分もそうなれないことによる嫌悪感でさらに嫌い、みたいな感じになっちゃうのかな、とは思っていますね。

K：そういう、性産業に向いてない人、働きたくない人が働かなくてよいようにする、っていうのはセックスワーク論の基本的立場に含まれているので、本来対立点はないはずなんですけどね。

H：そうですね。そういう人をね、ちょっとずつ減らしていけばいいですね。

新しい職業の誕生

H：プラットフォームができては消え、できては消えるのと、どんどん規約が変更されるので、契約書の種類も膨大で、ブルシットジョブがメチャクチャ増えています。そういう作業が苦手な子は大変だと思う。だから書類仕事を仲介業者に委託している子もいますけど、中抜きがけっこうすごい。騙されたとかもあります。

K：単純作業が地味に大変ですね。良心的な人や会社があるとよいのですが。

H：そうですね。海外だとけっこうあるんですけどね。運営代行とか仲介とか。女王様も大体やっています。日本でも誰かにすすめて作ってもらおうかな。

多分儲かると思います。OnlyFans みたいなプラットフォームがたくさんできたおかげで、新しい職業も結構生まれて。例えば、動画を撮って編集する人とか、それをアップロードする人とか。だいたいのプラットフォームってチャット機能がついているんですよ。エロチャットみたいな。そのチャットだけを本人になりすましてやってくれる人とか。Sexter っていうんですけど。そういう職業もできた。

K：やっぱりエロコンテンツ周りは皆さんしぶといですね。すぐ金儲けの技を思いついて。

H：そうですね。本当に。宣伝、X とかも規制が厳しくなって、で、お互いに宣伝し合うRT と、RTR（リツイートトゥーリツイート）っていうのも流行して、それを有料で販売するとかっていうのもあります。それもフォロワーがいっぱいいる人は高い。さらにそれを仲介する業者とか、それを自動的にやってくれるサイトとか...

K：新しい職業がどんどんできて。そういう話はなんかたくましくて、希望を感じますね。

H：そうですね。意外なところからお金が発生するんだと思うけども。みんなたくましいです。エロはだいたい弾圧されているから。変わり身も早い。

K：まあそれだけ不安定ということでもある。

H：そうですね。だからやっぱりずっと先のことも考えておかないと、いざ起こった時にはもう手遅れになっちゃうから。最悪、私はタイに逃げます(笑)。

K：タイは規制がゆるいんですか？

H：ゆるいですね。タイも一応禁止は禁止なんですけど、取り締まりは緩くて。女王様も結構いる。性風俗もゆるく、動画もゆるい。税金も安いらしくて、日本人は今はまだ、お金を出せばタイでビザを買えるんですよ。去年バーゲンだったらしくて。

K：バーゲンあるんですね(笑)

H：あるんですよ。だからタイに行っちゃった知り合いもけっこういる。イギリスもかなり厳しくなっているので、イギリスのコンテンツクリエイターも何人かタイに行っていて、タイ国内でコンテンツを回せる状態になっているみたい。

K：最後にたくましい話がきけてよかったです。タイもいつダメになるかわかりませんが、しばらくいいところだといいですね。

H：うん、うん。本当に全部がダメになったら私はタイに行きます。

(2026年2月28日、雛奈子さん自宅にて)